

検見川にぎわい創成事業 令和元年度活動報告書

検見川商工振興会

令和2年5月22日



花見川区自主企画事業として、補助金をいただき開催してまいりました「検見川にぎわい創成事業」も3年目の最終年となりました。「検見川マルシェ」が、2回目として予定していましたが3月に「新型コロナウイルス」感染予防のため中止とした以外は、概ね予定通りに終えることができましたと思います。この事業は、大きく分けて4種類。「検見川フェスタ“やあびな”」、「かにキャラコンテスト」、「検見川マラソン」と「検見川マルシェ」です。それぞれについて振り返ってみたいと思います。

1. 検見川フェスタ“やあびな”

地域活性化を目的として始めたこのイベントは、今年は台風15号が接近する中、たびたびにわか雨に降られながらも、幸運にも大雨、大風に見舞われる前に終了することができました。

今年度は、7月12日、8月30日の2回、町内各種団体の代表者で構成される実行委員会を経て、9月8日に開催いたしました。地域への周知方法はポスターの掲示板等への貼付け、新聞折込と検見川小学校や町内幼稚園、保育園を通じて児童へ配布しました。

体育館での開会式に続き、特に検見川小学校金管クラブ「検見小フレンズ」による演奏会にご家族に、着ぐるみの人形劇は小さいお子さんたちに人気でした。人形劇の今年の演目は「赤ずきん」でしたが、劇団への委託料について補助金が大いに役立ちました。

体育館では社会福祉協議会検見川地区部会やNPO法人「おおなみこなみ」の皆さんによるコーナーが盛況で、校庭では検見川町内各種団体の皆さんによる模擬店や消防団の皆さんによる煙体験ハウスなど、にわか雨に見舞われる中での開催でしたが、概ね1,800人の地域の方々にご参加いただけましたものと思っています。

毎回全団体の代表者の方々には、当日何らかの形で関わっていただこうと、模擬店やゲームコーナーなどの出店をお誘いしておりますが、全ての団体のご参加にはまだまだ至っておりません。

第21回検見川フェスタ

やあびな

2019.9.8(日) 10:00-16:00
検見川小学校

オープニングセレモニー
人形劇(赤ずきん)
お楽しみコーナー
検見川小学校金管クラブ
社協マチカフェ
おおなみなみワークショップ
カニキャラクターコンテスト

体育館

一般公開

郷土資料室

校庭

ゲームコーナー
模擬店コーナー
消防団コーナー
高砂会おにぎり販売
検見川 Tシャツ販売
(やあびなバージョン)



秋ガニ

カニキャラクターコンテスト 2018 グランプリ

◆主催◆

・検見川商工振興会

◆後援◆(順不同)

・検見川町連合町内会
・千葉市社会福祉協議会 検見川地区部会
・千葉西交通安全協会 検見川支部

・検見川小地区スポーツ振興会
・検見川消防団
・ケミッコ子ども会

・NPO 法人 Drops
・NPO クラブ
・検見川小学校同窓会

※雨天時は、都合により変更となる場合がございます。あらかじめご容赦ください。

2. かにキャラコンテスト

上記フェスタやあびな内で受け付けしました、昔検見川の海でたくさん獲れた「ワタリガニ」をモチーフにした「かにキャラコンテスト」です。

前頁のフェスタやあびなのポスターやコンテスト参加用の用紙の製作、当日の運営は千葉大学の学生さんをメンバーの主体とする NPO 法人 Drops に委託しています。

事前に検見川小学校や町内幼稚園、保育園に用紙を児童の皆さんへ配布していただくようお願いし、フェスタやあびな当日に体育館の受付へ親子で持参していただく方式です。受付場所でも描くことができるように設定しています。今年度は 240 名のご参加がありました。



最優秀賞作品は翌年のフェスタやあびなの、ポスターのマスコットの存在になります。

毎回最優秀賞他数点を選び、10月第1日曜日に開催される検見川町民運動会のお昼休みに時間をお借りし、受賞者親子にご参加いただいた上で表彰式を行っています。

優秀作品のうちの一つは「商工振興会会長賞」として幼稚園、保育園に通うお子さんから1点を選ぶようにしています。



第21回検見川フェスタ

やあびな

カニキャラ

デザイン

コンテスト2019

結果発表

検見川賞
祭りガニ

会長賞
はーとづくしかに

やあびな賞
検見川商店ガニ

ユーモア賞
中秋のカニ月

努力賞
令和ガニ

今年のカニキャラは計240点集まりました。
たくさんのご応募ありがとうございました。

検見川フェスタやあびな実行委員会

3. 検見川マラソン

検見川町民運動会のひとつのプログラムとして、運営その他を検見川商工振興会に任されている「検見川マラソン」。従来使用していたゼッケンが老朽化と1色のみだったため、検見川小学校の実にバスケット用ビブスを借用したりして行っておりました。

この事業1年目には小学生男子の部用グリーン50枚(1~50)、2年目には一般男子の部用ホワイト20枚(1~20)を。3年目の今回で女子の部用オレンジ20枚(1~20)を、補助金を利用して揃えることができました。



検見川マラソンに限らず町内の様々なイベントで活用できるよう、ゼッケン(ビブス)の表面には「kemigawa」と表示いたしました。

周知方法は、毎年各町内自治会の回覧板で各世帯に配布している町民運動会のプログラムに検見川マラソンを開催、当日朝に参加受けする旨の表記をしていただいたことと、初年度に補助金をいただいて製作した「マラソン開催の案内看板」を町内マラソンコース沿いに、スポーツ振興会の皆さんに立てていただきました。

毎年少年野球チームなどのスポーツ少年団の小学生男子の参加が多く、ゼッケンの数を一番多く作りましたが、試合等と重なってしまったために今年度の参加者数は予想以上に少なく、しかも近年珍しく女子の部の参加者数が20名以上と一番多かったため、ゼッケンの色を小学生男子と女子の部を入れ替えました。今年度の参加者総数は50名でした。



4. 検見川マルシェ

検見川商工振興会会員店舗の取り扱い商品を地域にお住いの皆様へPRすることを目的に、今年度2回ほど開催する予定でしたが、事情により2年続けて開催は1回に留めました。

人出を見込めると、12月の歳末福引大売出しの抽選会に併せて1回目を開催いたしました。



2回目は3月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のためにやむを得ず中止にいたしました。

福引抽選会の人出を当て込んで開催した1回目でしたが、福引抽選会にお越し下さる皆さんは当商工振興会の会員店舗は当然ご存じのはずで、少々ターゲットを間違えたかとの意見もありましたが、皆さんまだご存知ではない会員店舗もありますので、参加は数店舗ではありましたが、珍しく思っただけの商品もあったご様子で、実際に手に取ってご覧になるお客様もいらっしゃいましたので、それはそれで目的を達成することができたのではないかとも思いました。

3年間続けて補助金をいただき行ってきました「検見川にぎわい創成事業」ですが、「検見川フェスタ“やあびな”」の開催については、資金面で毎年開催することには困難が予想されますが、場面を限定せずに使用できるゼッケン、集会用テントやテーブルなどを充実させることができ、今後の事業展開に役立てることができると思います。ありがとうございました。